

日蓮聖人門連だより

発行
日蓮聖人門下連合会

〒146-8544
東京都大田区池上1-32-15
電話 (03) 3751-7181

平成25年2月16日
第47号

法華経の修行

——日本山妙法寺藤井日達山主法話より——

日本山妙法寺僧侶 武田隆雄

南無妙法蓮華経

日本山妙法寺藤井日達山主の法話を紹介申し上げます。

◆現代の経済について

「本来、市場の交換手段に過ぎなかった貨幣をもって、地上の神とあがめ、かえって金銭が人間を支配するがごとき、顛倒現象を生じ、結局、金融資本主義の段階にいたって、個人も、国家も、世界も、金銭にしばられて自由を失う。日本国が米国に追随せざるべからざる所以も、この金融資本の束縛をこうむったためである。勤労者は機械の奴隷となり、資本家は利潤追求の奴隷となった。文明社会はすべて奴隷となった。文明の甘き酒は、人間をして、此の顛倒の酔狂を生ぜしめた。現代文明がまさに毒発悶乱して、大地に宛転する時となった。この解毒剤として、教主釈尊が末法にとどめ置かれたる良薬が、すなわち南無妙法蓮華経の五字七字である。」

◆日蓮大聖人様の御一代について

「私は、日蓮大聖人様の御一代そのままを考えて見ねばならない。

文字に表現すれば立正安国、ただこれだけ。正法を起して国家を安穩にする。国家に悩みがある時、どうしてこれを救うて行くか、我々はこのことだけ考えて一生を通らねばなりません。そのほか、寺を建てること、寺の留守番をすることの、回向まわりをすることなどは、至極一代の運命を誤り、本化の菩薩の末法に出現した趣旨を恥ずかしめる。これこそ泥棒であり、法師の皮を着たる畜生であります。日蓮大聖人様が、そういうことをせよと仰ったこともなければ、御自身なさっておりません。

佐渡の国から鎌倉へお帰りなされる時、国を諫めて、何とかして日本国の国難を救わねばならないという誓願から帰られたのであります。幕府の人が『国難退治の御祈念をして下さい』と頼みましたが、信仰は妥協の問題ではありません。それを断られました。北條が本当に信仰をしないために、『経文にかりがあればなし。蒙古の国が来る時に私の言葉がわかるだろう』と言って鎌倉をたたくまじした。そして身延の山にお住まいなさったのだ。お寺持ちになろうといえ、その時に幕府は、一千町の上田を御祈禱料にあげて、日

蓮大聖人様は愛染堂という戦争を調伏する降魔の神様の住職になるはずでありました。それにならなかつたのだ。そして身延の山で一生を寒いやらひもじさやらの中におすごしなされたのであります。信仰とは、こういうものであります。「国を諫め、人を諫めて行くことが法華経の修行であります。これは形に見えない、国のなげき、人のなげきを救うて行く方法を自らよく考えることであります。力のあるなしは論ぜられない。力があつてもなくても、ただ御題目を唱えて、その国難を自ら引き受けて立つ。これが日蓮大聖人様の教えであります。」

◆現代の憲法について

「人類の生きていく道は、平和に暮らすこと。争いをしないこと。これだけを仏様の教えによつて習いきわめて、現在の憲法を宗教的な信念によつて持たねばなりません。南無妙法蓮華経と唱えて、この憲法を守ります。」 合掌

☆日本山妙法寺藤井日達山主の法話の典故は、『天鼓要文集』より掲載申し上げます。

法華宗(真門流)管長就任挨拶

法華宗(真門流) 総本山本隆寺貫主 田中 日 紘



一言ご挨拶。……その前に思い起こすと、それはもう十五年或いは二十年も以前になりますが、時の貫主第九十六世林日圓院下から「田中君、君が今やろうとしている仕事が完成したら御前さんやの」とお言葉をかけていただいたことがあり、そんな大それたことある筈がないとばかりに日々を送っておりました。その間第百三世上川日乾院下からは「折角そこまでやる

のならば他宗の嫌がる経文「四十余年未顕真実」を含む開経『無量義経』もやつてくれんか」とのご指摘などもあり、結局門流の御開祖が後柏原天皇の勅命を拝受して訓点を付された所謂『奉詔訓点法華経開結十巻』に随つて読み下した経本がようやく出来上がりしました。しかし、残念なことに前記の両院下は昨春秋、相次いで踵を接するようにご遷化をなされました。本題に掛りますと、昨年二月に自坊奈良県御所市八紘寺に於いて総本山より正副執事・総代、並びに宗務庁より総長・部長立云の下、厳肅に講待式が奉行された折、ここに至るに紆余あり曲折ありで貫主推戴に相当な苦勞を経て漸くに

本門佛立宗講有就任挨拶

本門佛立宗 第二十五世講有 山内 日 開



ありがとうございます。私は昨年三月の定例宗会にて推戴を受け、同七月二日に講有位を遺囑伝承いたしました。もとより、野柄はその器になく、この大任を全うするため御宝前のご加護を希い、日夜御題目口唱に励んでおります。

五六年を経過して、「本来の仏教とは何か」を問う改革の精神を見失つてはいないかと、顧みることに頻りであります。この御意を受け継ぎ、現代社会に起こる諸問題に鋭く切り込んでいく意識がなくては、生きた仏教としての役目は果たせないのです。とくに僧侶は、人々の悩みや苦しみを受け止め教導する説得力を養うため勉強し、研鑽を重ねるべきであります。

さて、本門佛立宗は、開導日扇聖人が今を生きる人への教化を正意として、葬儀や死者回向に偏した仏教界の改革を提唱し、開講されたことを起源とします。以来一

また、東日本大震災の大津波と

定まったとの経緯を耳にしました。元より浅学、こんな大役が務まるう筈もなく多分に危うい綱渡りになる事は火を見るよりも明らか、然しながら承知の返事をしたからにはウジウジとした事も言えまいと臍を固めた処、昨年四月の晋山式直前に急性脳髄膜炎を発症し周囲や関係者の方々を大いに心痛させ、ご迷惑をお掛けすることとなってしまいました。二十日余りの入院を経て退院しましたが後遺症として記憶力が大減衰してしまい、現状足腰の筋肉も力弱く認知症の疑似体験をしている如くであります。

從地ゆじゅつ

◆「草を打つて蛇を驚かす」ではないが、それが他の部員のため、ということもあつたようだ。

これも宿業のなせるワザと言ふべきかもしれません。溝に似たる水」の言葉通り非才の小物はそれらしくあれとの先輩諸聖の御忠告と受け止め、及ばずながら誠心誠意努めさせていただく覚悟でございます。御鞭撻の程お願い申し上げます。

原発事故、その他自然災害に多くの方が被災されていますが、自然環境の厳しい我が国では、誰もが同様の災害に遭う可能性があるのです。被災された方々のご苦勞をひと事と思わず、我が身にも起こりうることに自覚して、もっと多くの人が積極的な援助活動に立ち上がるべきと考えます。

折しも本年は門祖日蓮聖人五五〇回御遠諱を迎え、本宗は過去三年に及ぶ「佛立菩薩を育てる運動」により後継者育成に成果を上げ、この動きは平成二十九年に迎える開導日扇聖人ご生誕二百年を慶讃する「佛立開花運動」へ継続する計画であります。

これらのご奉公を進め、四海帰妙の祖願達成のため、微力ながら小職は責務を果たす所存であります。

合掌

◆「草を打つて蛇を驚かす」ではないが、それが他の部員のため、ということもあつたようだ。

◆「広宣流布の大願」への態度をもう一度考える。私自身、本年も失敗よりも多くのお題目を唱え、少しでもたくさんの人へお題目の下種をしなくてはならない。ただ「正しいから、ありがたいから、唱えましょう」の布教ではいけない。失敗しながらも自身の信仰の態度を強く示さなくては、と自戒を記す。「竜頭蛇尾」とならぬよう。

◆「そんな話は蛇足。時代は変わった、そんな指導は時代遅れだ。そういう意見が出て当然な世の中である。では、変化している時代ならば、今一度自分自身の信仰や布教も考え直す時がきているのではなからうか。」

◆日蓮大聖人は、天台宗の僧として出家される。後にそれが誤りであつたことをはつきりと示され、南無妙法蓮華経のお題目を残された。御自身の失敗も伝えながら、正しい教えを見つけ出された態度。そして、想像をはるかに超える覚悟と信念をお持ちになつた態度。正しい教えも当然であるが、この態度が人々の心を動かしてきたのである。現代まで脈々とお題目は伝わっている。

◆「私自身も学生時代に運動部へ所属していたため、こういう指導をたくさん受けた。だが、不満としていた父兄は多くなかった。ところが父兄は多くなかったように思ふ。そんな時は、かえって父兄側が先生に謝罪に行くことも少なくなかった。だから恥ずかしく感じ、失敗をしないように気を付けていた。同時に、失敗の内容についても考え始め、結果、自分の目指すプレーが定まっていたのだ。」

◆「周りの方々の真剣な態度への感謝が芽生えた。少なからず影響を受け、今の自分があることにも気付く。一瞬一瞬の成功の思い出より、時間はかかりながらも何かに気付けることが大切ではなからうか。」

◆「そんな話は蛇足。時代は変わった、そんな指導は時代遅れだ。そういう意見が出て当然な世の中である。では、変化している時代ならば、今一度自分自身の信仰や布教も考え直す時がきているのではなからうか。」

◆「そんな話は蛇足。時代は変わった、そんな指導は時代遅れだ。そういう意見が出て当然な世の中である。では、変化している時代ならば、今一度自分自身の信仰や布教も考え直す時がきているのではなからうか。」

《各派のページ》 第四回「法華宗陣門流宗門内外で活躍する僧侶」



法華宗陣門流宗務総長
『シリーズ日蓮』刊行会会長
東京・大久寺住職

佐古弘文さん

スローガン

「教学第一」をスローガンにして四年が経過した。このスローガンを宗内外に宣伝したところ、各方面からの反響があり、当然のことながら賛否も分かれた。しかし、現在もこの方針が揺らぐことはない。それどころか、就任当初はその重責に不安を感じながらも、

（プロフィール）
さく こうぶん 昭和二十六年、静岡県生まれ。東洋大学文学部仏教学科卒。法華宗宗務院研究科卒。元法華宗宗務院教授。宗務院研究科所員。東京都・大久寺住職。宗派・門流の垣根を越えた日蓮教学の研究を呼びかけ、自らも学術研究を積極的に進め、宗務総長と学術研究を両立する異色の存在。日蓮教学、天台教学に精通。最近の学術論文・学会発表としては、「守護国界章に於ける仏身論の一考察」「凝然と天台宗」等。

私自身がこの言葉に突き動かされながら、多くの方々のご協力とご教導の陰で今日を迎えられている。

このスローガンは、宗内の子弟教育の充実と教師の質向上のために掲げたものであり、五年、十年先を見据えた人材の育成に主眼をおいている。専門性が問われる現代の職業観においては、僧侶の中でも教学の研究は研究機関に所属している教師がすばいよと考えているのが実情である。しかし、それは我々僧侶側の見方であって、檀信徒



薬王寺住職

小林明雄さん

教誨師として

「おーい、明雄、ちょっと来なさい。」師匠の呼ぶ声に、寺務所に入ると、知らぬ恰幅の良いお坊さんを目にした。師匠が、「この方は、先日市の仏教会で一緒にいた、ウキス興源寺の田宮黎友先生です。何かお前に願

プロフィール

（プロフィール）
こばやし みょうゆう 昭和二十六年（一九五二）富山県富山市長連寺にて生まれる。立正大学大学院文学研究科仏教学専攻修士課程修了。法華宗宗務院研究科卒、法華宗広報誌「宝塔」第五十一集より「おしゃかさまのおしえ」四十回連載。昭和六十三年三月新潟刑務所所属教誨師となる。平成元年一月新潟・薬王寺住職に任命される。

田宮先生から、教誨師の仕事、管区大会の事などを伺った。師匠の助言もあり、お受けすることとした。大学時代、担任の先生から依頼を受け、出版社に出入りし、多少の出版は出来るようになっていたので、お手伝いすることとなり、昭和六十三年三月に教誨師を拝命した。

私が最初に携った事は、第三十三回東京矯正管区管内教誨師研修新潟大会の大会資金を調達する為、広報誌の発行であった。田宮先生と相談して、その名前を「笹だんこ」とした。このお

にしてみれば、僧侶・住職としてきちんとした宗学や仏教学を修めて欲しいと願っているのが本音であろう。勿論、僧侶は教学や学問だけではなく、多様な能力を要求されるので、どのような分野であれ、常に研鑽を怠らぬに精進しなければならぬ。このスローガンのもと、宗内の催事ではあるが、年に一度、全国寺院を対象に「研究発表会」を開催し、今回で四回目となった。この研究発表会は宗学や仏教学に限らず、布教・教化といった様々な分野にも開放されている。

門祖・円光坊日蓮聖人（二三九〇—一四一九）の教学研鑽は、常に一貫した姿勢が示されている。その研鑽態度は、「日陣の私曲にあらず」と明言されているように、私利を捨てて宗祖の真実を追求し、御遺文に直参することであった。この門祖の祖書を中心とする教学研鑽は、現代の研究法論と比較しても何ら遜色のないものである。近年では、新たな日蓮聖人研究誌

菓子は、新潟の銘菓で笹でくるまれている、昔で縛られている。草餅にくるまれているけれども、皮むいたらその中はとつても甘い、人は表ではなく、中身で判断する、との意味合いで名付けた。今年で二十五号になった。最初は、お菓子業界の新聞と間違われたりしたが、この「笹だんこ」に広告を出して下さる業者の方々の尽力により、漸く教誨師会の広報誌と理解をされつつある。

此の新聞の見開きの中心にこんな言葉が印刷されている。「教誨師とは、刑務所や少年院などに収容されている人たちの心の支えとなり、罪を犯して苦しんでいる人を正しい道に導く為、宗教を通じ奉仕する人です。」教誨師は、罪を犯し施設に収容されている人々に、二度と罪を犯すことのないように教えるし正しい道に共に歩むことを目的としている。

施設内における宗教教誨は、新しく制定された「刑事施設及び受刑者の処遇等に関する法律」によって、収容者

『法華仏教研究』や『日蓮仏教研究』、『興風』が相次いで創刊され、日蓮聖人に関する議論が活発に展開されている。また、私自身、東洋大学の西山茂先生や花野充道先生との出会いにより、西山先生の主催する「本化ネットワークセンター」の月例研究会ともご縁を頂き、花野先生の呼び掛けにより『法華仏教研究』に発起人・編集委員として参加させて頂いている。

その一方で、日蓮聖人研究の国際化という新たな潮流も生まれている。プリンストン大学のジャクリン・ストリンジャー先生や、ロンドン大学のルチア・ドルチェ先生らによる、中古天台本覚思想や密教思想などから日蓮聖人を捉えた研究が発表されており、すでに傾聴すべき成果を挙げている。このような国内外の日蓮聖人研究に関する最近の動向は、従来の伝統的な教学研究の枠に収まりきらない広がりを見せているといつても過言ではない。

座日蓮」が叢智を集結して出版された。しかしながら、その後の日蓮聖人研究は大きな進展を遂げているにも拘わらず、同様の出版企画は存在しなかった。そこで、最新の学術的成果を踏まえながら、本書が日蓮聖人研究の学際的集大成として企画されたのである。

に付き添われ神社仏閣に御参りをした経験がないのである。収容者の中には、親兄弟、親戚知人などの命日に回向をしてほしいと願うものもいる。教育課から、我々に連絡が入り、日程を調整したうえで施設を訪れる。これを忌日教誨という。全く宗教心が無いわけではない。然し、他人を顧みることなく、自分だけが良ければという心が見え隠れする。

教誨の種類は、忌日教誨だけではなく、新しく入所した者には新入教誨、お盆法要や彼岸法要等大勢の収容者を集めての集合教誨、宗派の話をするグループ教誨、一対一で向き合う個人教誨、病中等で刑務所内で死亡引き取り手が無い場合の棺前教誨等、教誨の種類は色々ある。我々教誨師が、被収容者に一番願うことは、二度と施設に戻ってこないことである。我々の教誨であるが、罪を犯さうとした時、心のブレーキが働くように、役立つ事を願っている。

の権利として認められるようにはなっていないが、基本的には刑罰としての矯正教育が主眼であるため、何でも認められるということではない。教誨を受けたらと思っても自由に受けられるものではない。教誨師は、ボランティアであるため、勝手に施設内に立ち入ることは出来ない。刑務所長の許可を得て後に訪問することが出来る。つまり、施設からの要請により教誨に赴くことが出来るのである。先年、全国教誨師連盟の海外研修に参加した折、ドイツの刑務所を尋ねたが、ドイツの刑務所の教誨師は、専任常駐であり、施設の七割近く開く鍵を持っているとのことであった。教誨師の判断で、直接収容者に合うことが出来るのである。我々は、引率されて施設内に入るのとは大きな違いが感じられる。欧米の宗教者に対する信頼の大きさ、信仰心の強さであると思う。クリスマス、バレンタインだと浮かれ、大切な先祖供養を忘れていた日本人とは大きな違いを感じる。

施設収容者には、宗教体験を持っているものは少ない。子供の時に、父母

感動のそばに、いつも。

団体参拝をはじめ、ご旅行のご相談と手配は
JTBグループにお任せください。

ホームページ <http://www.jtb.co.jp>

本年三月十一日は東日本大震災第三回忌を迎えます。犠牲者諸霊位に御回向し、被災地域の日も早い復興をお祈り申し上げます。合掌

(平成二十五年二月現在)

日蓮宗宗務院

宗務総長 渡邊照敏 財務部長 川口智康
伝道局長 齊藤憲一 宗務総長室長 渡邊義生
総務局長 塩崎望巳 現代宗教研究所長 三原正資
伝道部長 中井本秀 参 与 渡邊一之
教務部長 川口久雄 参 与 吉田海心
総務部長 池田弁岳 日蓮宗新聞社社長 村上俊正

〒146-8544 東京都大田区池上一-1321-15
電話 〇三(三七五〇)七七八一
FAX 〇三(三七五〇)七七八六

法華宗(本門流)宗務院

管 長 小西日遼
宗務総長 二瓶海照
庶務部長 佐藤義賢
財務部長 久永晃顕
布教部長 斎藤舜顕
教務部長 金井孝顕
松本義仙

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町二-19-1
電話 〇三(五六一四)三〇五五六
FAX 〇三(五六一四)三〇五六

顕本法華宗宗務院

管 長 中村日玄
宗務総長 朝倉俊幸
宗務次長 藤崎行学
教務部長 早川義正
庶務部長 阿曾久成
布教部長 桑村信慶
財務部長 河野時巧
社会部長 飯澤道安

〒606-0015 京都市左京区岩倉幡枝町九一
電話 〇七五(七九二)七二七一
FAX 〇七五(七九二)七二六七

法華宗(陣門流)宗務院

管 長 石丸日然
宗務総長 佐古弘文
総務部長 牧野秀成
教務部長 布施義高
教化部長 今井満良
財務部長 金原孝宜
企画部長 山岸観深

〒170-0002 東京都豊島区巢鴨五-135-16
電話 〇三(三九一八)七二九〇
FAX 〇三(三五七六)〇二二一

本門佛立宗宗務本庁

宗務総長 木村日覚
宗務副総長 西村日要
宗務副総長 植松常二郎
教務局長 亀井圭魁
弘通局長 植田日事
総務局長 藤本日唱
広報局長 澤田日松
財務局長 西村日勲
特別局長 藤本日涌

〒602-8377 京都市上京区御前通一条上東盛町二〇番地
電話 〇七五(四六一)一一六六
FAX 〇七五(四六四)五五九九

日蓮本宗宗務院

管 長 嘉儀日有
宗務総長 岩崎広義
宗務部長 岩崎広義
財務部長 原田智光
教務部長 原光

〒606-8362 京都市左京区新高倉通孫橋上七法皇町四四八
電話 〇七五(七七二)三三九〇
FAX 〇七五(七七二)五九一四

法華宗(真門流)宗務庁

管 長 田仲日紘
宗務総長 寺田完英
宗務部長 掘田智泰
教務部長 堀内浩善
教化部長 木村完祥
財務部長 安立修学
社会部長 上田泰源

〒602-8447 京都市上京区智恵光院通り五辻上丸紋屋町三〇
電話 〇七五(四四一)五七六二
FAX 〇七五(四四一)五六六六

本門法華宗宗務院

管 長 松下日肆
宗務総長 藤井日靖
宗務部長 増田隆雄
総務部長 吉村日彦
財務部長 土畑信教
教務部長 山田岳隆
庶務部長 高邊晶啓

〒602-8418 京都市上京区寺之内通大宮東入大本山妙蓮寺内
電話 〇七五(四五二)三三二七
FAX 〇七五(四五二)三五九七

宗教法人 国柱会

賽主 田中壮谷
理事長 田中勇一郎
理事 本間直暉
門連常任理事 藤本坦孝
門連理事 原田義彦
門連理事 森山真治
編集委員(門連だより) 的場春奈
編集委員(門連だより)

〒132-0024 東京都江戸川区一之江六一-191-18
電話 〇三(三五六〇)七二二一
FAX 〇三(三五六〇)九九八〇
<http://www.kokuchukai.or.jp>

京都日蓮聖人門下連合会

会 長 伊丹日章
副会長 嘉儀日有
理事長 藤井照源
副理事長 岩崎広義

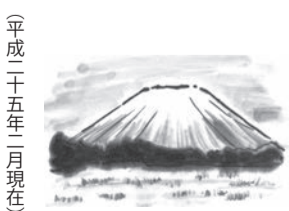
京門連事務局
〒606-8376 京都市左京区二条通川端東大菊町九六
頂妙寺布教会館内日蓮宗京都府第一宗務所内
電話 〇七五(七六二)二四一一
FAX 〇七五(七五二)九三三八

日本山妙法寺大僧伽

首 座 吉田行典
責任役員 酒井天信
同 今井行康
同 池田行朗
同 二宮和嘉
同 木津博充
同 川岸行孝

日本山妙法寺大僧伽事務局
〒150-0045 東京都渋谷区神泉町八一七
電話 〇三(三四六一)九三六三
FAX 〇三(三四六一)九三六七

<p>頭本法華宗総本山 妙満寺</p> <p>〒606 0015 京都市左京区岩倉幡枝町九一 電話 〇七五(七九二)七二七一 FAX 〇七五(七九二)七二六七</p> <p>貴首 中村日玄 執務 吉永義康 執事 山本晃道 執事 中村英司 執事 湯原正純 執事 小川正義</p>	<p>法華宗(本門流)大本山 本能寺</p> <p>〒604 8091 京都市中京区寺町通御池下る 電話 〇七五(二三一)五三三五 FAX 〇七五(二二一)二八三八</p> <p>貴首 菅原日桑 執事 赤田泰宏 役員 一同</p>	<p>日蓮宗大本山 池上本門寺</p> <p>〒146 8576 東京都大田区池上一一― 電話 〇三(三七五)一三三三一 FAX 〇三(三七五)三三五〇</p> <p>貴首 酒井日慈 執事 野坂法雄 役員 一同</p>	<p>日蓮宗総本山 身延山久遠寺</p> <p>〒409 2593 山梨県南巨摩郡身延町身延 電話 〇五五六(六二)一〇一一 FAX 〇五五六(六二)一〇九四</p> <p>法主 内野日総 総務 井上瑞雄</p>
<p>多寶富士山 日蓮本山 本山要法寺</p> <p>〒606 8362 京都市左京区新高倉通孫橋上ル法皇町四四八 電話 〇七五(七七二)三三九〇 FAX 〇七五(七七二)五九一四</p> <p>貴首 嘉儀日有 大学頭 丹治日遠 執事 岩崎広義 執事 原田智光 執事 原光明</p>	<p>本門法華宗大本山 妙蓮寺</p> <p>〒602 8418 京都市上京区寺ノ内通大宮東入妙蓮寺前町八七五 電話 〇七五(四五二)三五二七 FAX 〇七五(四五二)三五九七</p> <p>貴首 松下日肆 執事 音羽隆全 役員 一同</p>	<p>法華宗(真門流)総本山 本隆寺</p> <p>〒602 8447 京都市上京区智恵光院通り五辻上ル紋屋町三三〇 電話 〇七五(四四一)五七六二 FAX 〇七五(四四一)五六六六</p> <p>貴主 田仲日紘 執事 足立真正 執事 本多信正 書記 永岡悠希 書記 笹木研吾</p>	<p>法華宗(陣門流)総本山 本成寺</p> <p>〒955 0845 新潟県三条市西本成寺一―一二〇 電話 〇二五六(三三)〇〇〇八 FAX 〇二五六(三三)〇〇五九</p> <p>貴首 石原日然 執事 笹原壯玄 執事 平井良光 執事 栗田孝之 執事 荒川公孝 執事 近藤正文 執事 五十嵐義昭</p>
<p>宗祖御降誕靈場 日蓮宗大本山 誕生寺</p> <p>宗祖御降誕八百年に向かつての祈り</p> <p>〒299 5501 千葉県鴨川市小湊一八三 電話 〇四(七〇九五)二六二一 FAX 〇四(七〇九五)二〇五五</p> <p>貴首 石川日命 執事 橋本宏信</p>	<p>日蓮宗大本山 清澄寺</p> <p>日蓮聖人出家得度の霊跡</p> <p>別当 二宮日敬 執事 宮崎雅宣 役員 一同</p> <p>〒299 5505 千葉県鴨川市清澄三二二―一 電話 〇四(七〇九四)〇五二五 FAX 〇四(七〇九四)〇五二七 団参には是非、研修会館をご利用ください。 一六〇名様まで可。</p>	<p>京都八本山会</p> <p>本山本満寺 貴首 伊丹日章 大本山本園寺 貴首 吉田日厚 大本山妙顕寺 貴首 和田日佑 本山立本寺 貴首 上田日瑞 本山妙傳寺 貴首 野々垣日祐 本山頂妙寺 貴首 安藤日瑛 本山妙覚寺 貴首 及川日周 本山本法寺 貴首 瀬川日照</p>	<p>本門佛立宗本山 宥清寺</p> <p>住職 山内日開 二十五世講有 執事 小野山日住 事務局長 伊藤隆之</p> <p>〒602 8336 京都市上京区一条通七本松西入滝ノ鼻町一〇五―一 電話 〇七五(四六三)四六二〇(代) FAX 〇七五(四六三)四六五一</p>
<p>やくよけ祖師 日蓮宗本山 堀之内妙法寺</p> <p>〒166 0013 東京都杉並区堀之内三一四八―八 電話 〇三(三三三)六二四一 FAX 〇三(三三三)五〇〇七</p> <p>山主 嶋田日新</p>	<p>日蓮宗大本山 中山法華経寺</p> <p>貴首 新井日湛 参 与 田代浩敬 参 与 渡辺行俊 参 与 植田観樹 参 与 吉田文堯</p> <p>〒272 0813 千葉県市川市中山二一〇―一 電話 〇四七(三三四)三四三三 FAX 〇四七(三三四)一七九六</p>	<p>日興上人御聖廟 日蓮宗大本山 富士山法華本門寺根源</p> <p>貴首 旭日重 執事 川名義顕 参 与 吉田日綱 参 与 井野上正文</p> <p>〒418 0112 静岡県富士宮市北山四九六五 電話 〇五四四(五八)一〇〇四 FAX 〇五四四(五九)〇三〇三</p>	<p>日蓮宗霊跡本山 比企谷 妙本寺</p> <p>貴首 早水日秀 執事 立野正泰 山務役員 一同</p> <p>〒248 0007 鎌倉市大町一―一五―一 電話 〇四六七(二二)〇七七七 FAX 〇四六七(二五)六九六七</p>
<p>平成三十三年二月十六日は 宗祖御降誕八百年を 迎えます</p> <p>〒110 0001 東京都台東区谷中四一―二一五 電話 〇三(三八二)四三七三 FAX 〇三(三八二)七〇三三</p> <p>貴首 井上日修</p> <p>除厄安産飯匙の祖師・七面大明神奉安</p> <p>徳川家康公報恩創建 日蓮宗由緒寺院 瑞輪寺</p>	<p>日蓮門下お題目初唱之霊場 日蓮宗本山東身延 藻原寺</p> <p>貴首 持田日勇 総務 増田寶泉 執事 富永一道 " 中川貫泰</p> <p>〒297 0026 千葉県茂原市茂原一―二〇―一 電話 〇四七五(二二)三二五三 FAX 〇四七五(二二)一一七三</p>	<p>日蓮宗本山 頂妙寺</p> <p>貴首 安藤日瑛 参 与 伊東隆司 同 宇根海静 同 新林昭源 執事 藤井照孝 執事 川合陽雄</p> <p>〒606 8376 京都市左京区仁王門通川端東入大菊町九六 電話 〇七五(七七二)〇五六二 FAX 〇七五(七五二)一〇〇四</p>	



平成二十五年二月現在

各派・教団・短信

法華宗本門流

◆平成二十五年二月二十二日、第二十六回法華宗教学研究発表大会がキャンパスプラザ京都にて開催。

◆三月六日、「興隆学林専門学校」(尼崎市・大本山本興寺内)の平成二十四年度卒業式が行われる。

◆三月十一日、東日本大震災三回忌追悼慰霊法要を茂原市大本山鷲山寺を会場に、管長小西日逸君下、総長台下御臨席のもと奉修される。

法華宗真門流

◆六月三日、第三教区仏教講演会開催。

◆八月二十二日、北海道支学林開講。二十五日には、同寺にて第四教区の教師講習会も開催。

◆九月八日、大阪国際会議場にて、第一教区仏教講演会開催。

奉告法要奉修。◆十月五日、総本山本隆寺にて、秋季学林開講。◆十月十二日、総本山本隆寺にて、お会式奉修。

法華宗陣門流

◆九月四日、各教区が持ち回りで会場となる中央行学講習会が本年は関西教区にて開催された。

◆十月二十六日、千葉県九十九里町妙覚寺において、東部僧員研修会。

◆十一月九日、宗学研究所在所員会が宗務院において開催された。

本門法華宗

◆平成二十四年十月十二日、三教区仏教講演会開催。

◆十一月十二日、大本山妙蓮寺に於いて御開山日像菩薩御報恩法要並びに三師会・歴代人法要が奉修。

◆十一月二十七日、八日、卯木講堂にて開講。

◆立正安国論と東日本大震災一との講題でお話を頂いた。五日は本能寺よりバスにて横川・定光院、比叡山延暦寺を巡り、京都・本禅寺に於いて閉講式が行われた。

国柱会

◆五月一日、月先生、松下陽一本部員随員にて、社会福祉法人鑑石園の新設特別養護老人ホーム「まこと」落成式出席。

◆六月一日、月旦大國禱。七日、寛仁親王殿下御逝去により、東京港区・青山御用地へ賽主先生御記帳。

◆七月一日、月旦大國禱。五日、賽主先生、松下陽一講師補、東日本大震災復興旧応援ボランティア活動。

日本山妙法寺

◆平成二十四年二月四日、八月六日、全国の原発を巡る「命の行進」を歩む。

◆三月二日、三月二十二日、ノーモア・フクシマ脱原発ビースウォーク(米国ニュージャージー州オウスタークリントン原発からバーモント州バーモントヤンキー原発)を歩む。

◆七月十一日、八月十一日、ノーモア・フクシマ平和行進を歩む(米国・カナダのオンタリオ湖のまわりを歩む)。

◆十月十八日、十月三十日、沖繩平和祈念行脚を歩む。◆十月、十一月、インド国内の王舎城、ダーズリン、デリー、オリッサの各仏舎利塔記念法要を厳修。

京門連

◆平成二十五年二月五日、日蓮本山本満寺貫首 伊丹日章君下、副会長 日蓮本山山要法寺貫首 嘉儀日有君下。

◆二月二十五日(金)午後五時、理事會(本能寺文化会館)。平成二十五年役員確認の件、平成二十四年度会務行事の件、平成二十四年度決算の件、平成二十五年度会務行事案の件、平成二十五年度予算案の件、平成二十五年度総会の件、平成二十五年度降誕会の件。

◆二月十六日(土)午後一時、京門連總會(日蓮宗大本山本願寺)。平成二十五年度役員確認の件、平成二十四年度会務行事の件、平成二十四年度決算の件、平成二十五年度会務行事案の件、平成二十五年度予算案の件、平成二十五年度総会の件、平成二十五年度降誕会の件。

日蓮宗

◆小松原法難七五〇年記念法要(藤井照源)

◆宗門法要として十一月十一日、千葉県鴨川市の本山鏡忍寺で営まれる予定。

◆総本山身延山久遠寺で第二祖佐渡阿闍梨日向上人の第七〇〇遠忌報恩法要が九月一日から三日間営まれる予定。

◆十月十八日、十月三十日、沖繩平和祈念行脚を歩む。◆十月、十一月、インド国内の王舎城、ダーズリン、デリー、オリッサの各仏舎利塔記念法要を厳修。

京門連

◆平成二十五年二月五日、日蓮本山本満寺貫首 伊丹日章君下、副会長 日蓮本山山要法寺貫首 嘉儀日有君下。

◆二月二十五日(金)午後五時、理事會(本能寺文化会館)。平成二十五年役員確認の件、平成二十四年度会務行事の件、平成二十四年度決算の件、平成二十五年度会務行事案の件、平成二十五年度予算案の件、平成二十五年度総会の件、平成二十五年度降誕会の件。

◆二月十六日(土)午後一時、京門連總會(日蓮宗大本山本願寺)。平成二十五年度役員確認の件、平成二十四年度会務行事の件、平成二十四年度決算の件、平成二十五年度会務行事案の件、平成二十五年度予算案の件、平成二十五年度総会の件、平成二十五年度降誕会の件。

日蓮宗

◆小松原法難七五〇年記念法要(藤井照源)

◆宗門法要として十一月十一日、千葉県鴨川市の本山鏡忍寺で営まれる予定。

◆総本山身延山久遠寺で第二祖佐渡阿闍梨日向上人の第七〇〇遠忌報恩法要が九月一日から三日間営まれる予定。

◆十月十八日、十月三十日、沖繩平和祈念行脚を歩む。◆十月、十一月、インド国内の王舎城、ダーズリン、デリー、オリッサの各仏舎利塔記念法要を厳修。

京門連

◆平成二十五年二月五日、日蓮本山本満寺貫首 伊丹日章君下、副会長 日蓮本山山要法寺貫首 嘉儀日有君下。

◆二月二十五日(金)午後五時、理事會(本能寺文化会館)。平成二十五年役員確認の件、平成二十四年度会務行事の件、平成二十四年度決算の件、平成二十五年度会務行事案の件、平成二十五年度予算案の件、平成二十五年度総会の件、平成二十五年度降誕会の件。

◆二月十六日(土)午後一時、京門連總會(日蓮宗大本山本願寺)。平成二十五年度役員確認の件、平成二十四年度会務行事の件、平成二十四年度決算の件、平成二十五年度会務行事案の件、平成二十五年度予算案の件、平成二十五年度総会の件、平成二十五年度降誕会の件。

日蓮宗

◆小松原法難七五〇年記念法要(藤井照源)

◆宗門法要として十一月十一日、千葉県鴨川市の本山鏡忍寺で営まれる予定。

◆総本山身延山久遠寺で第二祖佐渡阿闍梨日向上人の第七〇〇遠忌報恩法要が九月一日から三日間営まれる予定。

準備奉行委員会(日蓮宗大本山妙願寺)にお会式準備。行脚、法要等打ち合わせ。◆十月五日(土)午後一時、お会式(日蓮宗大本山妙願寺)。導師、日蓮宗大本山妙願寺貫首、和田日悦君下、講師、選考中。

京門連

◆平成二十五年二月五日、日蓮本山本満寺貫首 伊丹日章君下、副会長 日蓮本山山要法寺貫首 嘉儀日有君下。

◆二月二十五日(金)午後五時、理事會(本能寺文化会館)。平成二十五年役員確認の件、平成二十四年度会務行事の件、平成二十四年度決算の件、平成二十五年度会務行事案の件、平成二十五年度予算案の件、平成二十五年度総会の件、平成二十五年度降誕会の件。

◆二月十六日(土)午後一時、京門連總會(日蓮宗大本山本願寺)。平成二十五年度役員確認の件、平成二十四年度会務行事の件、平成二十四年度決算の件、平成二十五年度会務行事案の件、平成二十五年度予算案の件、平成二十五年度総会の件、平成二十五年度降誕会の件。

日蓮宗

◆小松原法難七五〇年記念法要(藤井照源)

◆宗門法要として十一月十一日、千葉県鴨川市の本山鏡忍寺で営まれる予定。

◆総本山身延山久遠寺で第二祖佐渡阿闍梨日向上人の第七〇〇遠忌報恩法要が九月一日から三日間営まれる予定。

- 日蓮聖人門下連合会
●目的
●本会は日蓮聖人の理想を実現するため、祖廟を中心として門下各派及び教団並びに地方門下連合会の連絡協力、団結を強化することを目的とする。
●事業
●本会は前条の目的を達成するため、左の事業を行う。
1、祖廟護持の組織強化
2、教育事業の提携
3、布教の連合強化
4、懇談会・研究会・講演会等の開催
5、各種出版物の刊行
6、海外布教の提携及び交流
7、対外的な各種の運動
8、その他
●加盟団体
●日蓮宗 法華宗本門流
●本門法華宗 法華宗陣門流
●本門佛立宗 日蓮本宗
●法華宗真門流 本門法華宗
●国柱会 日本山妙法寺
●京門下連合会